

読者の声

北海道 T・O

さまざまな形態や思いで取り組んでいらっしゃる各地の皆様のことを知る事ができ、ありがたいです。そしてとても参考になります。

静岡県 K・K

他のNPOの活動を違った角度から見ることができ、自分たちの活動の参考になった。

東京都 Y・M

(48号のオピニオンでは) 自主性を生かして柔軟かつ迅速に取り組むことができる市民の力、ということがわかりました。

(48号の「いこいの本棚」では) 企業や団体、学校、自治体などの地域の多様な主体と対等な立場という記述について、共通認識となりたいものです。

奈良県 H・K

(48号「チャレンジレポート②」では) 子育てをしていた頃、こういうサポートがあれば是非利用したかったし、また、ボランティアとして参加することにも興味を持ちました。

(48号「再録メイコのいきいきモーニング」では) アメリカでの取り組みや日本でのプログラムを知り参考になりました。

鹿児島県 I・Y

全国ですばらしい活動をしている人がいて元気をもらいます。

富山県 ゆう

「障害者アート」について、日本だけでなくアジアと世界に関係するものということを初めて知った。

三重県 M・Y

(48号「おいしいもの見つけた」について) すばらしく感動しました。前向きな姿勢ですすめていくことに。おいしそうで、ラップ販売を自分のところへも来てもらえたら、子どもたちもお年寄りも喜んで思いました。がんばっていつてほしいです。

編集後記

1998(平成10)年に創刊しました本誌「いきいきチャレンジ」もいよいよ今年で最終号を迎えることになりました。1998(平成10)年という、ちょうど特定非営利活動促進法(NPO法)が施行され、NPO法人等非営利団体の活動が社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすようになる契機となった年であり、地域社会の活性化という大きな波をつくりだした年でもあります。

創刊号を振り返ってみると、福祉分野の新しい動きを紹介するコーナー、在宅福祉に取り組む団体等の紹介といった内容を掲載しておりました。以来、NPO法人等で活躍される方の声をお届けし、その活動を広く普及・啓発するとともに、地域で活動する上で必要な各種情報を発信することで、読者の皆様のニーズに

応えられるよう、誌面づくりに取り組んでまいりました。上記「読者の声」にもありますように、創刊から現在まで、毎回いただきありがとうございます。創刊から現にお言葉や、アドバイスに支えられ、これまで発行を重ねてくることができたと思っております。

12年間ご愛読いただき本当にありがとうございました。

本誌は今号で最終号となりますが、当機構では今後も新しい助成制度のもと、皆様の地域に密着した創意工夫ある活動を応援します。様々な活動が芽吹く春の訪れとともに、意気込みも新たに業務に取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

【独立行政法人福祉医療機構 編集担当】

いきいきチャレンジ!

Spring 2010 49号

春

平成 22 年 3 月 15 日 発行

発行●独立行政法人福祉医療機構
〒105-8486
東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス 9F
TEL03-3438-4756 FAX03-3438-0218
URL : <http://www.wam.go.jp/wam/>
e-mail : ikiiki@wam.go.jp
編集協力●中央法規出版株式会社

「いきいきチャレンジ！」ホームページのご案内

「いきいきチャレンジ！」のバックナンバーについて
平成12年度発行分より全掲載ページをPDFにて閲覧することができます。ぜひご覧下さい。
http://www.wam.go.jp/wam/publish/main_07.html

本誌に対するご意見・ご感想は下記連絡先にお寄せ下さい。

◆TEL 03-3438-4756
◆FAX 03-3438-0218
◆メールアドレス ikiiki@wam.go.jp